

【家庭用】 MUGEN Coffee Maker

V60 円すい形 ペーパードリッパー式(1～2杯用)

取扱説明書 保証書付

お買いあげ誠にありがとうございます。正しくご使用していただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みになりましたら、大切に保管してください。

1	はじめに読んでいただきたい事項
2~4	安全上のご注意
5	V60 1 回抽出ドリッパー MUGEN の特長
6	MUGEN Coffee Maker の特長
7	各部の名称
8	初めて使うとき
9.10	ご使用方法
11	分量について
12	故障かな?と思ったら
13	サーバーのお取り扱い
14	ドリッパーのお取り扱い
裏表紙	製品仕様・保証書

はじめに読んでいただきたい事項

本製品は **1～2杯用** です。水量は200mL以上300mL以下でご利用ください。
水タンクに入れた水は、全て排出されます。

※ **1～2杯用**。1杯分、200mL未満には対応しておりません。

【 MUGEN Coffee Maker を長くご利用いただく為に 】

「クエン酸洗浄」をお願いします。

使っているうちに内部の給湯パイプ・切り替え弁などに、水の中に含まれているミネラル分など（湯アカ）が付着しお湯の出がわるくなったり、抽出スピードが遅くなったりします。

クエン酸の代わりに、お酢を使っても洗浄ができます。洗浄の目安は3ヶ月～半年に1度ですが、ご使用頻度が多い場合は

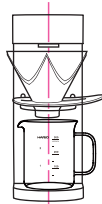
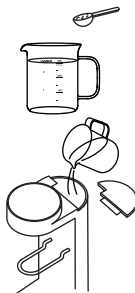
2ヶ月に一度 程度洗浄を行ってください。

※石灰分等の付着によるパイプ内部の水流れの悪化が原因で、タンク内に水が残ったままと誤認し、抽出完了ランプが点灯したりエラー表示となる場合があります。

その際は、通常よりも多めのクエン酸（大さじ1杯程度）を水に溶かし、2回程度の洗浄を行ってください。

クエン酸洗浄

- ①サーバーの300の目盛まで水を入れ、クエン酸（またはお酢）を5g（小さじ1杯）加えてよく混ぜクエン酸水を作る。
- ②水タンクに作ったクエン酸水を入れる。
- ③ドリッパーとサーバーを本体にセットする。（ペーパー、コーヒー粉は入れません。）
- ④電源を入れて、抽出開始ボタンを押す。
- ⑤抽出完了のアラーム「ピー」が鳴り、完了/抽出ランプ・電源ランプが消灯したら、サーバーの水を捨て、5分以上たってから、水だけでクエン酸のニオイを取るための洗浄運転をする。（p8参照）



本体は水洗いできません。

本体表面の汚れは湿った布で拭いたあと、乾いた布でふき取ってください。

⚠️ お手入れは必ずスイッチを切り電源プラグを抜いて、十分に冷えてから行ってください。

⚠️ シナー、ベンジン、除光液、ミガキ粉、たわしなどは使用しないでください。変形、変色、傷などの原因になります。

【注意】

- ・水タンクにはクエン酸を直接入れず、水に溶かしたものをご使用ください。内部で固まり、詰まる原因となります。
- ・水タンクへは、水・クエン酸水以外は入れないでください。故障の原因となります。
- ・プレートが熱くなっておりますので注意してください。
- ・クエン酸はキッチン用のものをご使用ください。

警告マークについて

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、ご使用の際の注意事項を下欄のような警告マークで表示しています。このマークは、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさ、切迫の程度で明示するものです。それぞれの意味を十分にご理解の上、この取扱説明書をお読みください。また、これらのマークを表示してある事項は、いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

警告マークの種類	警告マークの内容
 危険	人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。
例  +  =  感電注意	△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の例では感電注意）が描かれています。
例  +  =  分解禁止	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。マークの中やマークに隣接する文章に具体的な禁止内容（左図の例では分解禁止）が描かれています。
例  +  =  電源プラグをコンセントから抜いてください  +  =  指示を守ってください	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください/指示を守ってください）が描かれています。

愛情点検

長年ご使用のコーヒーマーカーの点検を



こんな症状はありませんか
 ●電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
 ●電源コードに傷がついていたり、通電したりしなかったりする。



このような症状のときは、事故防止のため、使用を中止しコンセントから電源プラグを抜いて、販売店または弊社相談窓口にて点検をご相談ください。

電源プラグ・コンセントについて

警告

交流100V以外では使用しないでください。故障・火災・感電の原因となります。



電源コードや電源プラグがいたんでいたたり、コンセントへの差込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。修理は弊社で相談窓口までお問い合わせください。



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだ電源プラグや緩んだコンセントは使わないでください。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電・ショート・発火の原因になります。



定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。他の器具と併用したり分岐コンセントを使用すると異常発熱して発火することがあります。



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除いてください。電源プラグにほこりがたまるとう湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。



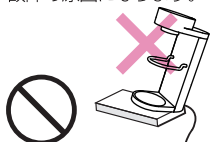
電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を乗せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。



設置場所について

警告

不安定な場所では使用しないでください。けが・故障の原因になります。



電源コードは足や物に引っかかると、本体の落下や転倒によりやけどやけがの原因となります。十分注意して配置してください。



注意

長時間直射日光が当たる場所、ベットなどが通る場所、浴室などの湿気の多い所では使用しないでください。本体の変形、故障、事故、火災の原因となります。



壁や家具の近くでは使わないでください。また、上にモノを載せて使用しないでください。熱や蒸気による変色・変形の原因になります。収納棚などの中で使用するときは蒸気がこもらないように注意してください。



ご使用について

警告

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常作動してけがをすることがあります。



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。感電・やけどをする恐れがあります。



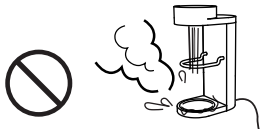
蒸気口付近に手や顔を近づけないでください。やけどをする恐れがあります。とくに乳幼児には触らせないようにご注意ください。



ご使用について

⚠警告

サーバーを外して使わないでください。やけどの恐れがあります。



本体を丸洗いしたり、水をかけたり、浸けたりしないでください。ショート、感電のおそれがあります。



強い衝撃を与えないでください。破損・故障・短寿命の原因となります。また、穴やすき間にピンや針金などの金属物や燃えやすいものを入れないでください。



使用中や使用直後は保温プレートやその周囲、サーバーなど高温になっている部分には触れないでください。やけどの恐れがあります。



サーバーを載せたまま本体を動かさないでください。やけどやけがの原因になります。



抽出時や抽出後、高温になった蒸気がオーバーフロー窓から吹き出すことがあります。顔や手を近づけないでください。やけどの恐れがあります。



⚠注意

コーヒー粉を入れすぎないでください。25g以上のコーヒー粉を入れるとコーヒーがあふれてやけどすることがあります。



水タンクに水道水・クエン酸水以外のものを入れないでください（お湯、牛乳・コーヒーなど）。故障の原因になります。ミネラルウォーターやアルカリイオン水・井戸水などは内部に石灰分がつきやすいためお勧めできません。



水蒸気の発生により本体に水がついたときは乾いた布でふきとってください。（タンクの入り口周辺/抽出口付近など）



加熱中は水タンク内が高温になります。フタを開けたり、差し水をしたりしないでください。高温の蒸気による、やけどの原因になります。



続けてコーヒーを抽出するときには、電源スイッチを切り5分以上待ってください。本体が熱いうちにタンクに水を入れるとタンクから蒸気が出てやけどするおそれがあります。



水タンクに水が入っていない状態で使用しないでください。空焚きになり故障・事故の原因となります。



タンク内に水を300mL以上入れないでください。



タンク内に水以外のものを入れないでください。故障の原因となります。



お手入れするときは、スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。



サーバーについて

⚠注意

サーバーは火にかけないでください。



ガラスは割れるものです。洗浄やご使用時はていねいにお取り扱いください。また、破損した際のお取扱いは、ケガをしないよう十分ご注意ください。



廃棄について

⚠注意

廃棄する際は、各自治体の指示に従い分別してください。



V60 1回抽出ドリッパー MUGEN の特長

追求したのは

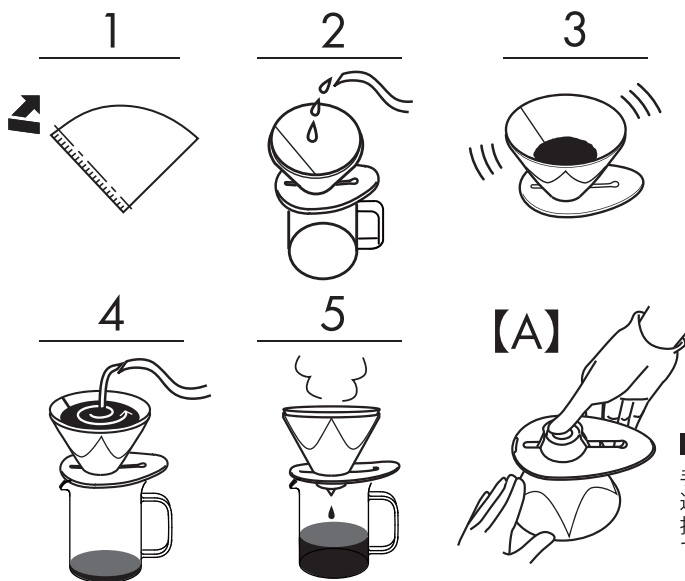
「ハンドドリップ」の美味しさ。

「V60 1回抽出ドリッパー MUGEN」は、お湯を1回注ぐだけで抽出できるドリッパーです。お湯を注ぐと、内側の細い溝をつたって、コーヒーがゆっくりとドリップされます。

MUGEN Coffee Makerは、ハンドドリップの味わいを再現できるように開発しました。

いつでも安定抽出できるので、ハンドドリップで淹れたような美味しいコーヒーをご家庭でお手軽にお楽しみいただけます。

●V60 1回抽出ドリッパー MUGEN でハンドドリップする場合



■ホルダーのはずし方

手袋をして、ドリッパーをひっくり返してホルダーの長い方を持ち、親指で穴の縁を押し出すようにしてはずしてください。（図【A】参照）

■コーヒーの淹れ方

- 1 | ペーパーフィルター（02サイズ）の圧着部を折り曲げ、ドリッパーの内部にセットします。
- 2 | ドリッパーをサーバーに置き、ペーパーフィルターの全体が湿る程度にお湯をかけてください。器具を温めるためのものですので、サーバーのお湯は捨ててください。
- 3 | コーヒー粉 **20g** を入れ、軽くゆすって平らにします。コーヒー粉は中細挽きがおすすです。
- 4 | コーヒー粉の中心よりうず状にお湯を注いでください。**240mL**のお湯を1回で注ぎます。
- 5 | コーヒーが落ちきったら出来上がりです。
●コーヒー粉の量等は好みで調節してください。

MUGEN Coffee Maker の特長

シンプルな操作

①電源→②抽出の2ステップ。

コンパクトなボディ

スリムな形状で場所をとりません。

穴抽出口

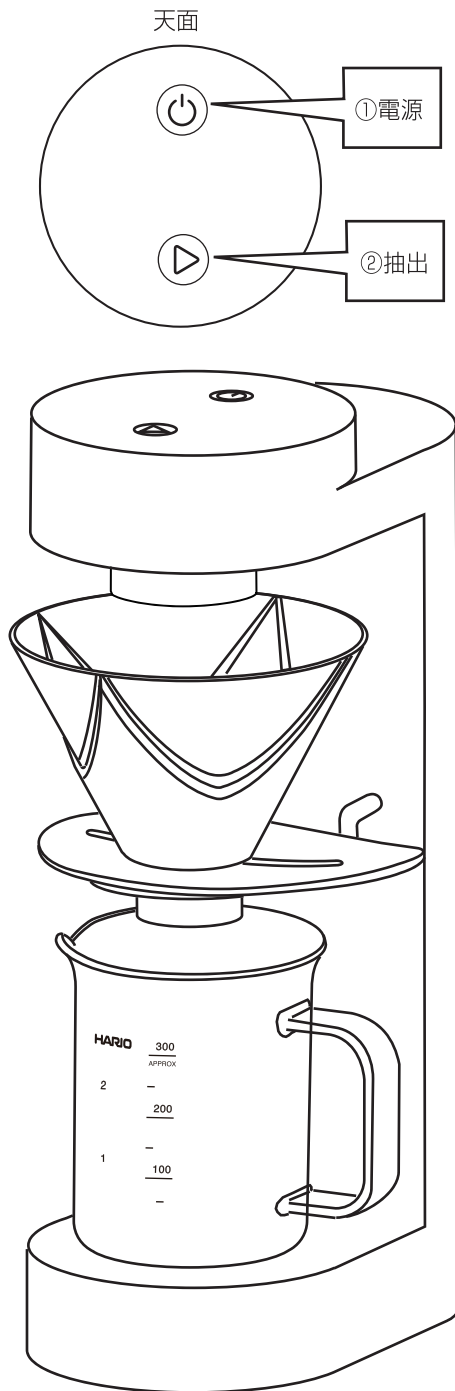
MUGEN Coffee Maker ではシャワー式穴の抽出口で、コーヒー抽出に理想的な注湯方式を実現しました。

高温抽出システム

高温を維持するシステムにより、ドリップに最適な抽出温度である93℃前後でコーヒーアロマを十分に引き出せる注湯方式を実現しました。

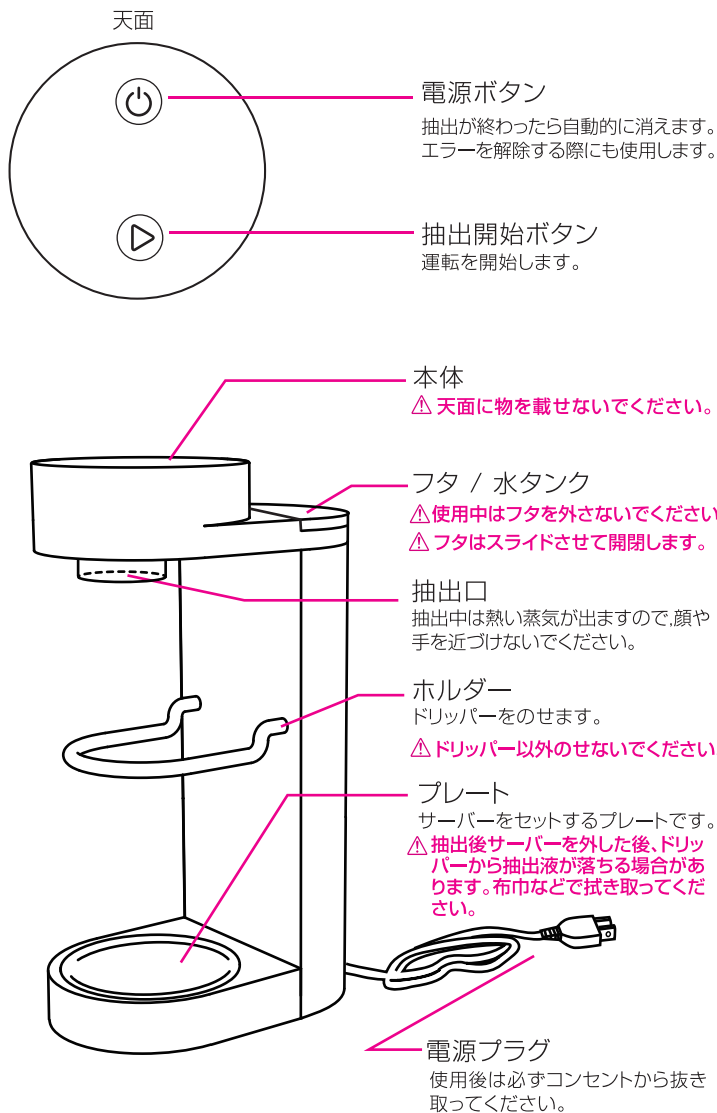
一回抽出

高温で一気に抽出する方法を再現しました。93℃前後のお湯が20秒程注湯して、一回で抽出します。



※保温機能はありません。

各部の名称



同梱の付属品



ペーパーフィルター 02W
(白 / 40 枚入り)



計量スプーン
コーヒー粉すりきり約 12g

材質：ポリプロピレン



V60 1 回抽出ドリッパー
MUGEN

材質：本体 / AS 樹脂
ホルダー / ポリプロピレン



ビーカーサーバー 300

材質：耐熱ガラス

HARIO Glass®

※本体はプラスチック製の為、プラスチック特有のにおいがする場合がありますが、人体に影響はありません。

※製品の仕様は品質向上の為予告なしに変更となる場合があります。

初めて使うとき

- 1 本体から取り外せる下記のものには水洗いしてください。



- 2 最初に使用するときや、しばらく使用しなかったときには本体の「洗浄運転」を行ってください。

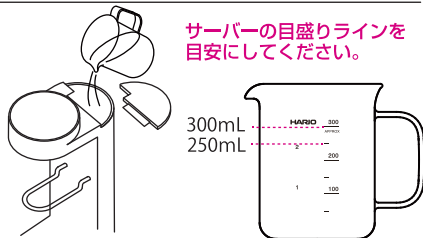
〔洗浄運転〕

- 1 水タンクに水道水を入れる。

フタを外して 300mL 計量した水を入れます。サーバーを使用して水を入れてください。

●水道水を入れてください

⚠ 最大容量は 300mL です。300mL より多く水を入れますと抽出時にドリップパーから溢れますのでご注意ください。

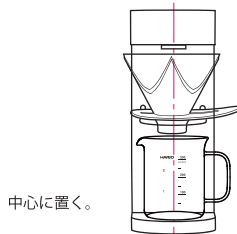


- 2 サーバーとドリップパーを本体にセットします。

ペーパーとコーヒー粉は入れずにサーバーとドリップパーをセットします。

●サーバーとドリップパーはプレートの中心に正しくセットしてください。

⚠ サーバーとドリップパーを置いていない、または中心からずれていると、熱湯が外にこぼれ、やけどをする恐れがあります。



- 3 ボタンを押して設定をします。

- ①電源ボタンを押す
②抽出開始ボタンを押す

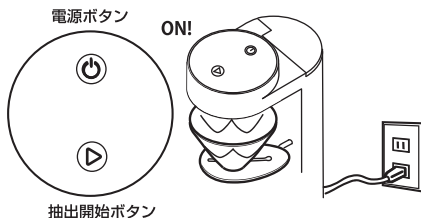
しばらくするとポコポコという沸騰音と共に注湯が始まります。タンクのお湯がなくなり注湯が終了しますと「ピー」とアラームが鳴ります。

⚠ 抽出口からは高温の蒸気が出ます。抽出口に顔や手を近づけないでください。

⚠ フタの蒸気穴から蒸気が出ますので顔や手を近づけないでください。

⚠ 注湯中は水タンクのフタを開けないでください。

⚠ 本体は高温になりますので手を触れないでください。



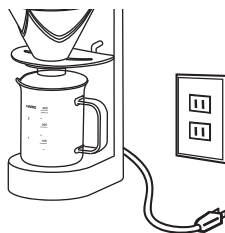
⚠ 蒸気に注意



- 4 電源プラグをコンセントから抜きます。

注湯が終わったら、電源プラグをコンセントから抜きます。サーバーに排出されたお湯は捨ててください。

⚠ 続けてコーヒーを抽出するときは、電源ボタンを切り5分以上待ってから次の抽出を開始してください。本体が熱いうちにタンクに水を入れると蒸気が噴出しやけどするおそれがあります。



ご使用方法

1 水タンクに水道水を入れる。 ※常温の水をご利用ください。お湯の場合エラー表示になることがあります。

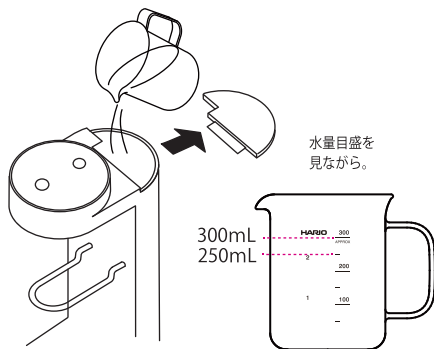
水タンクのフタを外し、水量目盛を見ながら**付属のサーバー**で計量した水を入れてください。

- 付属のサーバーで 300 のラインまで水を入れます。
- 必ず杯数分の水道水を入れてください。ミネラルウォーターやアルカリイオン水、井戸水などは本体内部に湯アカなどがつきやすくなる為お勧めできません。

⚠ **運転中は必ず水タンクにフタをしてください。フタが閉まっていないと安全装置が正しく働かない為危険です。**

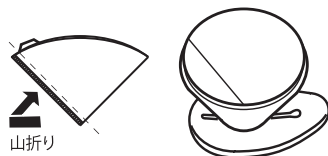
⚠ **空焚きは絶対にしないでください。200mL以上、300mL以下の水を入れてご使用ください。**

⚠ **水タンクに水以外は絶対に入れないでください。故障の原因となります。**



2 ペーパーを折りドリッパーにセットする。

ペーパーフィルターの圧着部（点線部）を折り曲げ、ドリッパーの内部にぴったりとセットします。



3 コーヒー粉を入れる。

コーヒー粉を付属の計量スプーンで、20g又は25gを入れます。コーヒー粉は少しゆすって平らにします。

- 計量スプーンのすりきり1杯は約12gです。お好みのコーヒーの濃度により粉の量を調整してください。薄めに抽出したいときは計量スプーンの8gのラインを目安に入れてください。
- コーヒー粉は中細挽きをお使いください。

⚠ **コーヒー粉は25g以上入れないでください。多すぎると抽出中にドリッパーから溢れ出す恐れがあります。**



コーヒー豆は中細挽きをご利用ください。

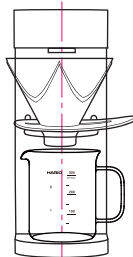


4 サーバーとドリッパーを本体にセットする。

ドリッパーは金属ホルダーの上にセットします。

- サーバーはプレートの中心に正しくセットしてください。

⚠ **サーバーとドリッパーを置いていない、または中心からずれていると、熱湯が外にこぼれ、やけどをする恐れがあります。**



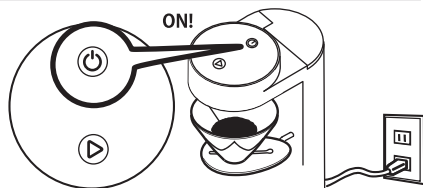
正しく中心に。

サーバーとドリッパーを中心におくことでお湯がコーヒー粉に均一にかかります。

5 電源を入れる。

電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押します。

⚠ **定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。**

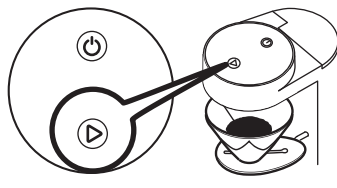


6 抽出開始ボタンを押す。

抽出開始ボタンを押すとボタンのランプが点灯します。しばらくすると、ポコポコという沸騰音と共にお湯が出て抽出が始まります。

- 抽出は水を入れた容量分全て滴下されます。容量調節機能は付いていません。

- ⚠ 抽出口からは高温の蒸気が出ます。注湯中は、タンクのフタを開けたり、抽出口に顔や手を近づけないでください。
- ⚠ フタの蒸気穴から蒸気が出ますので顔や手を近づけないでください。
- ⚠ 上方の開口部よりお湯や抽出中のコーヒーがはねる場合がありますのでご注意ください。
- ⚠ 本体部分も高温になりますので手を触れないでください。



抽出開始ボタン

- ⚠ 蒸気に注意

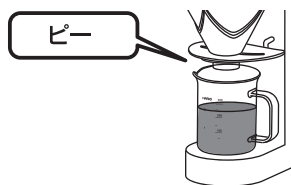
- ⚠ 抽出中のコーヒー飛びはご注意ください



7 抽出終了のアラームが鳴ります。

「ピー」とアラームが鳴ると抽出終了です。抽出が終わると、電源ボタンと抽出ボタンのランプが消えます。

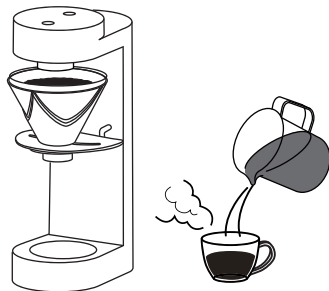
- ⚠ 本体部分も高温になりますので、ご使用直後の持ち運び移動はしないでください。
- ⚠ プレート部は高温になりますので手を触れないでください。



8 本体からサーバーを外し、コーヒーを注ぐ。

サーバーを本体から外して、コーヒーをカップに注ぎます。ホルダーにのせているドリッパーからコーヒー液がプレート部分に落ちることがあります。プレート部分は布巾などで拭いてください。

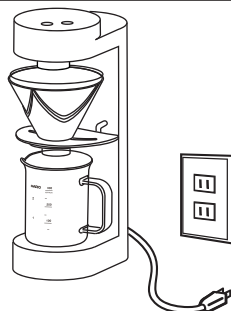
- ⚠ 抽出したコーヒーは、大変高温になっています。お召し上げの際にやけどをしないようご注意ください。
- 時間の経過と共に、コーヒーの味と香りは損なわれます。なるべく早いうち（30分以内）にお召し上がりください。
- ドリッパーを外す際、コーヒーが漏れることがあります。ご注意ください。



9 抽出が終わったら電源プラグを抜く。

電源ボタンと抽出ボタンのランプが消えたら、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ⚠ 続けてコーヒーを抽出するときは、電源を切り5分以上待ってから次の抽出をしてください。本体が熱いうちにタンクに水を入れると水タンクから蒸気が噴出しやけどのおそれがあります。
- ⚠ 本体は、電源スイッチを切った後もしばらく高温になっています。絶対に手を触れたりしないでください。
- ⚠ 空焚きは絶対にしないでください。



使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。

分量について

■計量スプーンについて

コーヒー粉を計る際の目安にしてください。

10g でコーヒー約 1 杯分

コーヒー豆：中細挽き

すりきりで約 12g

約 10g のライン

約 8g のライン



■出来上がり量について

コーヒー粉と水量、出来上がり量は下記のような関係になっています。抽出濃度を調整する際の目安にしてください。

⚠ タンクに入れる水の量は 200mL 以上、300mL 以下でご使用ください。

タンクの水	杯数	コーヒー粉の量	一杯分 120~130mL コーヒーの 出来上がり量 (目安)	抽出開始ボタンを 押してから抽出終 了まで。 所要時間 (目安)
240mL	2 杯分	20g	200mL	4 分程度
300mL	2 杯分	25g	240mL	4 分程度

* コーヒーの出来上がり量はコーヒー粉に吸収される分、多少減少します。また、挽き方や品種により異なります。

* 所要時間は水温や気温・本体内の熱の残り具合により異なります。

* 抽出用の水量は最大 300mL でご使用ください。300mL より多い水を使いますと抽出時にドリッパーから溢れることがあります。ご注意ください。

■アイスコーヒーを作るとき

アイスコーヒーを作るときは、アイスコーヒー用のコーヒー粉を使用し、水の量を少なく濃い目に抽出してください。作り方はホットコーヒーを作る場合と同様です。サーバーに氷を入れて抽出すると溢れる場合があります。氷を入れたグラスを用意して、濃い目に抽出したコーヒーを注いでください。



グラスに氷を入れて注いでください。



⚠ サーバーに氷を入れて抽出しないでください。コーヒーが溢れ出す恐れがあります。



故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、使用を中止してください。その後、本体が冷えてから、下記の内容をチェックしたうえ、症状が改善しない場合は弊社「ご相談窓口」にお問い合わせください。

状態	予想される原因	対処のしかた
ランプがすべて点滅している。 (エラー状態)	65℃以上のお湯をタンクに入れた。	抽電源スイッチを長押ししてOFFにしてから、再度電源スイッチを入れなおしてください。(エラー状態を解除) その後、5分以上本体を冷ましてから、65℃以下のお水でご使用ください。
	本体がまだ熱いうちに抽出を開始しようとした。	
コーヒーができない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源が入っていない。	電源ボタンを押して電源を入れ、抽出ボタンを押してください。
	水タンクに水が入っていない。	水タンクに水を入れてください。
	ドリッパーにコーヒー粉が入っていない。	ペーパーをドリッパーにセットしてコーヒー粉を入れてください。
コーヒーの落ちが遅い。	前回の抽出が終わってから、すぐに運転を開始した。	抽出が終了してから最低でも5分以上冷ましてから、次の抽出開始をしてください。
コーヒーの落ちが遅い。	コーヒー粉(挽き具合)が細かすぎる。	中細挽きのコーヒー粉を使用してください。
お湯の出が悪い。	給湯パイプ・切り替え弁などに湯アカなどが付着している。	湯アカなどの除去をするため、クエン酸洗浄をしてください。(P.1「クエン酸洗浄」参照)
コーヒーが溢れる。	タンクの水量が最大量を超えている。	300mLを超える水を入れしないでください。
	コーヒー粉を入れすぎている。	コーヒー粉は25g以上入れしないでください。
	コーヒー粉(挽き具合)が細かすぎる。	中細挽きのコーヒー粉を使用してください。
抽出したコーヒーがぬるい。	コーヒー豆/粉を冷凍庫・冷蔵庫に保存していた。	コーヒー豆/粉が常温になったのを確認してから使用してください。
ペーパーの臭いが気になる。		本体にセットする前に、ドリッパーにペーパーをセットした状態で熱湯を注ぎ、ペーパーにお湯を通してからご使用ください。

【エラー表示が出たときの対処方法】 ※エラー表示:すべてのランプが点灯し、アラームが鳴る

< 症状 >

・前回まで使えていたのに、突然エラー表示ができるようになってしまった。

< 対処方法 >

- ①電源開始ボタンを長押しし、電源スイッチをOFFにする。
- ②電源プラグを抜き、5分以上そのままにしてください。
- ③本体が冷めているのを確認し、電源プラグを差し直してご使用ください。

サーバーのお取り扱い



電子レンジ用



直火

お取り扱い上の注意

△ 電子レンジ以外の加熱器具は使用しないでください。

△ ガラスは割れるものです。洗浄やご使用時はていねいにお取扱いください。

△ お子様に使用させないでください。また、幼児のそばで使用したり、幼児の手の届く所に置かないでください。

- ご使用前には洗浄をしてください。
- ケガ防止の為、お取り扱いにはヒビや欠けが無いかご確認ください。
- ヒビ、欠け、強いスリ傷の入ったものは、思わぬときに破損することがありますので、使用しないでください。
- ガラス器の内面を、金属スプーンなどで強くたたいたり、強くこすったりしないでください。破損の原因になります。
- ガラス本体が熱いうちにぬれた布でふれたり、ぬれた台の上に置くと、急激な温度変化により破損する場合があります。おやめください。
- 破損した際のお取扱いは、ケガをしないよう十分ご注意ください。
- 廃棄する際は、各自治体の指示に従い分別してください。



ヒビ、カケ



たたく



ぬれた布



ぬれた台

電子レンジでのご使用上の注意

△ 突然一気に沸騰して液体が激しく吹き出す恐れがあります(突沸現象)。電子レンジから取り出す際は顔などを近づけないでください。

- 突沸現象については、弊社ホームページwww.hario.comをご参照ください。
- 外側の水滴は拭き取ってから電子レンジに入れてください。
- 空だきや中身が少ない状態で使用しないでください。
- ご使用の際は、お手持ちの電子レンジの取扱説明書をよくお読みください。
- 電子レンジ加熱後は熱くなりますので、持ち運びの際は、なべつかみなどを使って器全体や取っ手を持ってください。また、ビニール製のテーブルクロスなど、熱に弱いものの上には置かないでください。台に置く際は必ずなべしきなどをご使用ください。



突沸に注意



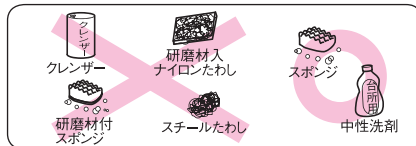
水滴



持ち運びは全体や取っ手を持って

お手入れの方法

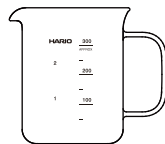
△ やわらかいスポンジでも、下図のようにクレンザーやガラスに傷のつく研磨材、または研磨粒子がついているスポンジなどは使用しないでください。思わぬときに破損する原因となります。



- サーバーは食器洗い乾燥機のご使用ができません。ご使用の際は、お手持ちの食器洗い乾燥機の取扱説明書をよくお読みください。
- 汚れのひどいときは「家庭用漂白剤」を薄めてご使用ください。その際「家庭用漂白剤」の取扱注意事項を必ずお守りください。漂白後は十分に水洗いしてください。
- ガラスの内面を洗う際、十分ご注意ください。内側から力を入れてタオルを絞る様にヒネリ洗いをしますと、破損し思わぬケガをする危険があります。

材質のご案内

ガラス本体
耐熱ガラス
耐熱温度差120℃



HARIO Glass®
HARIO Glass®はHARIOの耐熱ガラス素材の商標です。

Glass made with

HARIO Glass®

MADE IN JAPAN

Sustainable materials

家庭用品品質表示法による表示

品名	耐熱ガラス製器具
使用区分	電子レンジ用
耐熱温度差	120℃

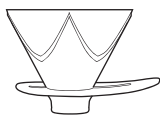
取扱い上の注意

- 調理の時は外側の水滴をぬぐい、途中で差し水をする時は冷水をさけ、またガラスの部分が熱くなっている時はぬれた布でふれたり、ぬれた所に置かないで下さい。
- 空だきをしないで下さい。
- 洗う時は、研磨材入りたわし、金属たわしやクレンザーなどを使用しないで下さい。
- 使用区分以外には使用しないで下さい。

HARIO株式会社

〒103-0006東京都中央区日本橋富町9-3

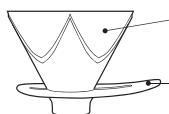
ドリッパーのお取り扱い



ドリッパー

材質のご案内

MADE IN JAPAN



本体：AS樹脂
(耐熱温度：90℃)

ホルダー：ポリプロピレン
(耐熱温度：120℃)

お取り扱い上の注意

- ⚠ お子様に使用させないでください。また、幼児のそばで使用したり、幼児の手の届く所に置かないでください。
- ご使用前には洗浄をしてください。
- 破損した際のお取扱いは、ケガをしないよう十分ご注意ください。
- 廃棄する際は、各自治体の指示に従い分別してください。
- プラスチック製ですので、火のそばに置かないでください。
- 本体とホルダーが確実に嵌まっていることを確認してご使用ください。
- 洗浄する場合は、やわらかいスポンジに中性洗剤を使用してください。
- 本製品は食器洗い乾燥機のご使用ができます。ご使用の際は、お手持ちの食器洗い乾燥機の取扱説明書をよくお読みください。
- 汚れのひどいときは「家庭用漂白剤」を薄めてご使用ください。その際「家庭用漂白剤」の取扱注意事項を必ずお守りください。漂白後は十分に水洗いしてください。

■お問合せ先

【通信販売】

弊社ネットショップ

HARIOパーツ 検索

<https://www.hario.co.jp/>

または、
フリーダイヤル 0120-39-8208
[平日 10:00 ~ 17:00]

【製品について】

お客様センター
フリーダイヤル 0120-39-8208
[平日 10:00 ~ 17:00]

1. 保証書について

この取扱説明書には保証書がついています。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間はお買上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

必ずご相談窓口までご一報ください。保証書の記載内容に基づき当社で無償修理致します。保証期間を過ぎている場合は、有償修理となる場合があります。

ご相談窓口

HARIO株式会社

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町9-3
<https://www.hario.com>

フリーダイヤル 0120-39-8208